

国際教育の推進について

※ 国際教育とは…国際化した社会において、地球的視野に立って、主体的に行動するために必要と考えられる態度・能力の基礎を育成するための教育

1 背景

- 第2期静岡市教育振興基本計画 目指す子どもたちの姿「たくましくしなやかな子どもたち」
 具体的例示「社会性を備え、静岡市民として、地域社会や世界で活躍する子どもたち」
 →子どもたちがグローバル化が進む社会を生き抜くために、地元への愛情を持ちながら、異なる文化の人々と自信を持ってコミュニケーションをとり、国際的に活躍できる「グローバル人材」を育成
- 総合教育会議における議論
 - ・H28：静岡市ならではの人材育成（英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクト）
 - ・H29：グローバル人材育成のための魅力ある教育施策（独自教材、地域人材GET）
- OR3.1中教審答申「令和の日本型学校教育」
 - ・義務教育9年間を見通した小学校高学年からの教科担任制導入（R4を目途）
 - ・高校生の可能性・能力を最大限伸長するための高等学校の特色化・魅力化
- OR3.6教育再生実行会議提言「ポストコロナ期における新たな学びの在り方」
 - ・グローバル化に対応した教育環境の実現・学生のグローバル対応力の育成・高校段階からの留学促進

2 本市の現状

- 小・中学校では、異なる文化の人々と自信を持ってコミュニケーションをとる「基礎」を培うため、ALTやGETといった人材を活用するとともに、「しずおかグローバルタイム」や「イングリッシュデイ」など、特色ある学習に取り組んでいる。
- 一方、市立高等学校では、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目標に掲げ、「社会で実際に役立つ力」を培うため、海外研修や留学生の受入れなどを実施している。

発達段階	小学校						中学校			高等学校		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3
課程	慣れる		関心を持つ		基礎を培う		身に付ける			役立てる		
授業			外国語活動		外国語		外国語			外国語		
本市 施策							教科担任 (R4-)		教科担任指導			
	A L T の配置											
							G E T の配置		海外研修・修学旅行			
	しずおかグローバルタイム（独自教材を使った身近で楽しむ英語学習）						留学生受入					
	イングリッシュデイ（月1回英語によるコミュニケーションを楽しむ日）						語学短期留学					
						イングリッシュキャンプ			海外大学進学			

- ◆国際教育に係る学校行事

静岡市立高等学校	修学旅行（台湾）2年普通科40人程度 海外研修（米オマハ）希望者20人程度 S S H海外研修（米ストックトン他）2年科学探求科生徒40人程度
清水桜が丘高等学校	修学旅行（台湾）2年生全員 海外研修（オーストラリア）希望者15人程度 長期留学生受入（ポーランド）1人
- ◆過去5年の市立高校2校の海外大学等進学者・留学生者数

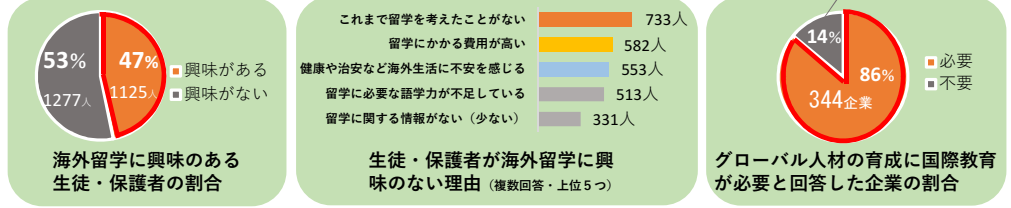
静岡市立高等学校	進学者2人 ネブラスカ大（米）・国立台湾大 留学生（卒業後）4人（在校中）6人（語学学校）
清水桜が丘高等学校	進学者2人 ハワイ大（米）・逢甲大（台湾）

海外大学へ進学した卒業生の声

- 海外大学進学希望者向けの選択授業や放課後の講習があれば参加したかった
- 海外大学進学希望者向けに留学経験者の体験談を聞きたかった
- 学校から海外という選択肢を教えてもらえば、早くから海外進学について考え、準備ができた

3 市立高校生・保護者、市内企業のニーズ

【ニーズ調査（速報値：6月末時点）】



【企業トップインタビューにおける主なご意見】

- 自治体が率先してグローバル人材の育成に力を入れることはありがたい
- 語学力だけでなく海外でも通用する主体性、対話力、広い視野、発想力などを養うことが必要
- 早い成長段階から、海外に慣れ親しむなど多様性（ダイバーシティ）を培うことが必要
- 目的を持って海外へ進学・留学することは、グローバル人材育成の1つの手段

「実際に世界に触れる」体験を一層充実することが重要

4 課題

【課題】

- 小中学校 ○英語など、教科指導の専門性の高い学びがより一層求められている
 - 地域人材（GET）の更なる活用が求められている
 - コロナ禍において、国際交流の機会が少なくなっている
- 高等学校 ○生徒・保護者の約半数が海外留学に興味がある一方、意識が低い人も一定数
 - 生徒が、気軽に世界に触れる体験ができる環境や情報が不足している
 - 生徒が海外へ留学・進学する支援体制が構築されていない

【検討の視点】

- 小学校からの英語教科の専門性の高いきめ細かな指導の充実
- 児童生徒の実際に世界に触れる機会の更なる創出
- 児童生徒のグローバルに活躍したいという意識の醸成
- 児童生徒が国際交流や海外留学・進学することに対する支援の強化

5 目指す姿と取組の方向性（案）

【目指す姿】

- 本市の子どもたちが、しずおかに愛着と誇りを持ちながら、国内外でグローバルに活躍したいという希望を叶えるとともに、本市からグローバル人材が育つ教育環境を2030年までにつくりあげる。

【取組の方向性（案）】

- 小・中・高の連続性のある国際教育の実施
- 海外の学校との国際交流の充実
- 市立高校における海外留学・進学希望者への積極的支援
- 英語教育・国際教育のノウハウ・高い水準の実績を持つ学校との連携

